

## 下呂市立金山病院 経営強化プラン（概要版）

計画期間：令和6年度から令和9年度まで

<p>当院の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直近3期はいずれも医業損失を計上しており、繰入金および補助金等により医業損失が補填される経営が続いている。</li> <li>令和4年度の病院全体の病床利用率は45.5%と低く、特に一般病棟において入院患者数の減少は顕著になっている。</li> <li>当院の入院患者の84.4%は金山町および加茂郡の一部（七宗町、白川町、東白川村）からの来院となっている。</li> </ul>
<p>医療圏の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広い面積を有する飛騨圏域の医療を5病院と22か所のへき地診療所で支えている。（200床を超える病院は3病院）</li> <li>総人口は減少するものの、後期高齢者人口は当面増加すると見込まれる。</li> </ul>
<p>プランにおける取り組み</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>1. 役割・機能の最適化と連携の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公立病院に求められる、救急医療、へき地医療、および小児医療の機能を維持</li> <li>当院では対応が難しい救急搬送や急性期疾患の症例については、岐阜県立下呂温泉病院をはじめとする医療機関と連携</li> <li>病床機能については、回復期病床（地域包括ケア病床）の増加を検討</li> <li>増加が見込まれる後期高齢者の医療需要に応えるため病床数（99床）を維持</li> <li>当院医師による近隣の医療・介護・福祉機関との交流の促進</li> <li>当院の地域連携の担当者増員による近隣施設との業務の円滑化促進</li> <li>当院が地域包括ケアシステムの中で担う役割を地域住民に発信</li> </ul> </li> <li><b>2. 医師・看護師等の確保と働き方改革</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学への派遣要請のほか、臨床研修協力施設として研修医の受け入れを促進</li> <li>県立下呂温泉病院との人材交流を検討</li> <li>外部の採用支援サービスや市の移住支援制度の活用も含め、圏域外に居住する看護師へのアプローチの強化</li> <li>遠隔診療システムやその他の業務効率化に資する医療DXの促進</li> <li>タスクシェア、タスクシフトの促進による業務効率化の促進</li> </ul> </li> <li><b>3. 経営形態の見直し</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>プラン策定時点は見直しを検討しない一方、全部適用への変更など経営形態の見直しの調査研究</li> </ul> </li> <li><b>4. 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県感染症予防計画等の理解・遂行および必要資材の備蓄</li> </ul> </li> <li><b>5. 施設・設備の最適化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年の物価高騰等に鑑み、市と慎重な協議のもと実施</li> </ul> </li> <li><b>6. 経営の効率化等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の医療・介護・福祉機関との連携強化による入院患者数増加</li> <li>リハビリ等、現在の職員による医療提供の最大化</li> <li>診療報酬の算定強化・適正化による医療の経済価値の最大化</li> <li>地域包括ケアの増床</li> </ul> </li> </ol> <p>【当プランの点検・評価・公表】半期ごとの評価において、当プランに掲げた数値目標の達成ができないと判断した場合は、速やかに抜本的な見直しを含めた経営強化プランの改定を行います。</p>